

経営比較分析表

埼玉県 越谷市

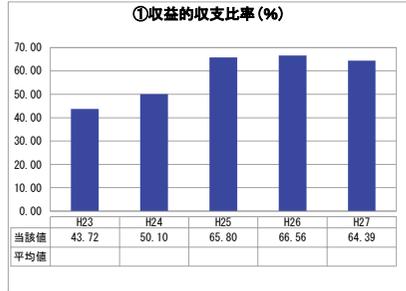
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Aa
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	83.01	86.56

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
336,565	60.24	5,587.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
279,899	27.57	10,152.30

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成27年度全国平均

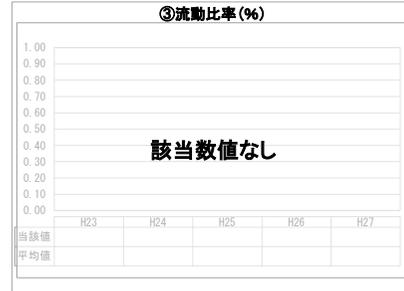
1. 経営の健全性・効率性



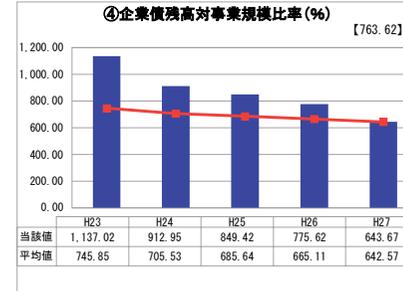
「単年度の収支」



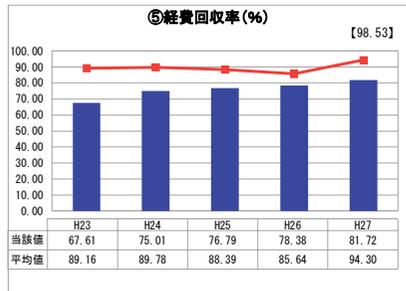
「累積欠損」



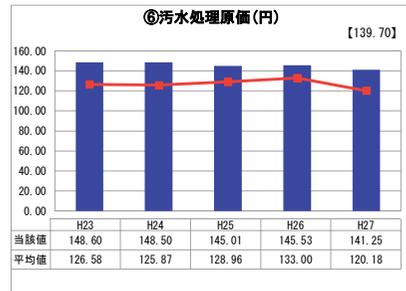
「支払能力」



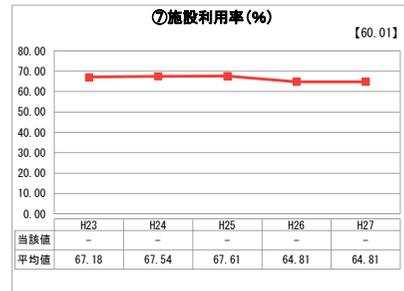
「債務残高」



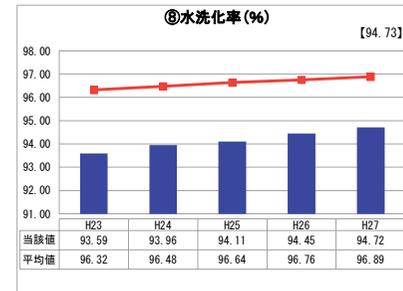
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

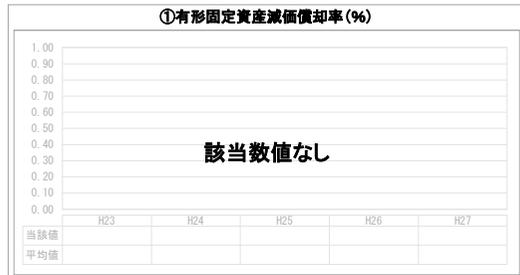


「施設の効率性」

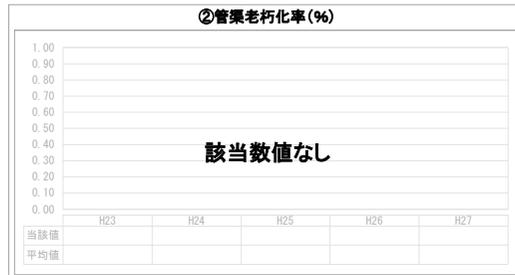


「使用料対象の捕捉」

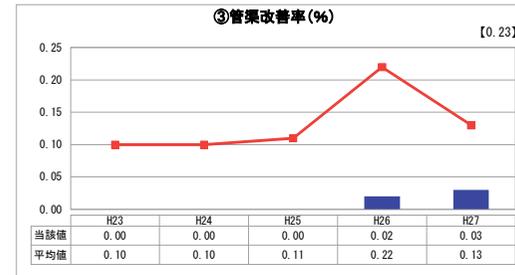
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
近年、料金収入の増加等により、改善傾向であるが、平成27年度においては維持管理負担金の改定があり、費用が増加したため、前年度と比較して下落している。

④企業債残高対事業規模比率
下水道施設建設のピーク時に借入を行った起債の償還が進み、企業債残高は減少傾向にあるため、改善傾向にあり、平成27年度においては類似団体とほぼ同水準となっている。

⑤経費回収率・⑥汚水処理原価
経費回収率については、類似団体より低い水準にあるものの、料金収入の増加もあり改善傾向にある。汚水処理原価については、その構成要素となる起債償還金が増加しているが、類似団体よりやや高い水準となっているが、資本費平準化債を活用するなど、抑制に努めている。

⑧水洗化率
平成27年度時点で類似団体より低い水準となっているが、職員及び委託による戸別訪問指導を行うことにより未接続世帯の解消を図り、改善傾向にある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
類似団体より低い水準となっているが、平成25年度より管渠の更新を開始し、平成26年度より管渠更正工事を実施しているため、改善傾向にある。

全体総括

経費回収率は、平成27年度末時点で、類似団体より低い水準に留まっているが、平成28年7月に下水道使用料の改定を実施していること、企業債償還金のピークが過ぎつつあることから、今後は更なる改善が図られる見込みである。

水洗化率についても、平成27年度末時点で、類似団体より低い水準に留まっているが、引き続き、未接続世帯解消の対策を実施し、改善に努めていく。

また、下水道施設の老朽化対策については、現在、ストックマネジメント計画の策定等に切り組んでおり、効率的に更新を進める予定である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。